



ESBL 産生菌による市中肺炎に対する CVA/AMPC の感受性

Sensitivity of CVA/AMPC against community-acquired pneumonia due to ESBL-producing Enterobacterales

佐野将宏¹⁾、進藤有一郎²⁾、小林弘典³⁾、松浦彰伸³⁾、佐藤健太³⁾、石井誠²⁾

- 1) 名古屋医療センター 呼吸器内科
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学
- 3) J-CAPTAIN Study Group

背景

Extended Spectrum β -Lactamase (ESBL) 産生菌に対する治療はカルバペネム系抗菌薬が推奨されている。しかしながら、ESBL 産生菌が起因菌の市中肺炎を CVA/AMPC で治療することができれば、広域抗菌薬の使用を減らすことができる。今回、市中肺炎の起因菌と判断した ESBL 産生菌に対する CVA/AMPC、SBT/ABPC、TAZ/PIPC の感受性を調べ、比較検討を行った。

方法

期間：2020年11月～2021年11月
対象：入院を要した市中肺炎患者の喀痰から起因菌として検出した ESBL 産生菌
研究方法：前向き観察研究（13施設が参加した多施設共同研究）
Endpoint：ESBL 産生菌に対する、CVA/AMPC、SBT/ABPC、TAZ/PIPC の感受性判定結果

結果

適格症例 3321 例のうち、起因菌判明例は 715 例で、全部で 851 の菌が起因菌として検出された。

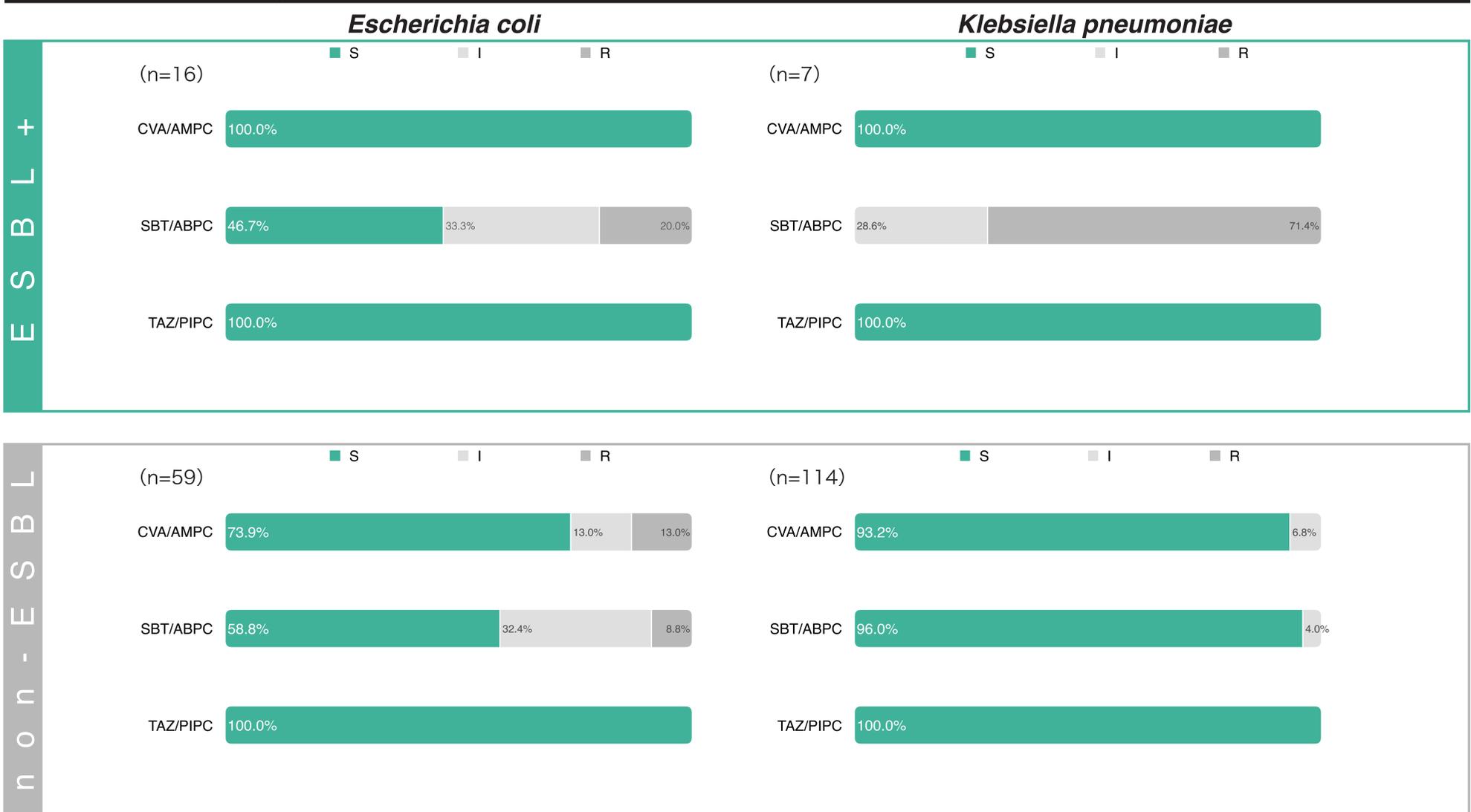
腸内細菌目細菌は 270 検出しており、最も多かったものは *Klebsiella pneumoniae* 121 で、次いで *Escherichia coli* 76、*Klebsiella aerogenes* 16 であった。

13 施設のうち、腸内細菌目細菌に対する CVA/AMPC、SBT/ABPC、TAZ/PIPC 全ての感受性判定を行っていたのは 3 施設であった。加えて 2 施設は途中から CVA/AMPC の感受性判定を開始していた。

ESBL 産生菌は全部で 23 例検出され、その内訳は *Escherichia coli* 16 例、*Klebsiella pneumoniae* 7 例であった。

各菌に対する CVA/AMPC、SBT/ABPC、TAZ/PIPC の感受性結果を以下に示す。対比のために ESBL、AmpC などの耐性機構を持たない菌の感受性結果も示した。

Figure 1 ESBL 産生菌と非産生菌に対する、CVA/AMPC、SBT/ABPC、TAZ/PIPC の感受性結果



考察

Escherichia coli に対してペニシリン系抗菌薬による治療は少なからず治療失敗のリスクをはらんでいる。しかしながら ESBL 産生 *Escherichia coli* と *Klebsiella pneumoniae* については、CVA/AMPC の感性率が高く治療薬の選択肢となり得る。IDSA のガイドラインでは、CVA/AMPC は血中濃度が信頼できないため、ESBL 産生菌による血流感染症に対しての使用は推奨されないとされているが、肺炎に対する記載はない。¹⁾ ESBL 産生菌による非重症の市中肺炎に対して CVA/AMPC による治療が、カルバペネム系抗菌薬による治療と比較して非劣性であることが証明できれば、不必要な広域抗菌薬の使用を減らすことができる。今後の更なるデータが待たれる。

また、今回 13 施設のうち、3 施設（後に 5 施設）でしか腸内細菌目細菌に対する CVA/AMPC の感受性判定を行っていないことがわかった。市中肺炎に対し CVA/AMPC による治療機会は多く、市中肺炎の起因菌として腸内細菌目細菌が検出される頻度も高いため、まずは全ての施設で感受性判定を行うようにすることが重要である。

今回報告したデータは ESBL 産生菌の検出数が少ないことが limitation である。ESBL 産生菌に対する CVA/AMPC の感受性判定をより多くの施設で収集し、今回報告したデータと同様の傾向を示しているかを確認する必要がある。

結論

ESBL 産生菌に対して CVA/AMPC は高い感性率を示し、CVA/AMPC による definitive therapy が有効である可能性が示唆された。

また、腸内細菌目細菌に対する CVA/AMPC の感受性判定は行っていない施設の方が多く、全ての施設で感受性判定を行うよう推奨していく必要があると考えられた。

参考文献

1 Tamma PD, Aitken SL, Bonomo RA, et al. Infectious Diseases Society of America 2023 Guidance on the Treatment of Antimicrobial Resistant Gram-Negative Infections. Clinical infectious diseases : an official publication of the Infectious Diseases Society of America. 2023. PMID: 37463564

COI 開示

演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業はありません。

謝辞

J-CAPTAIN Study Group に参加して下さった名古屋大学医学部附属病院、公立陶生病院、独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター、日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院、小牧市民病院、名城病院、社会保険中京病院、名古屋掖済会病院、中東遠総合医療センター、中部ろうさい病院、常滑市民病院、岐阜県立多治見病院、春日井市民病院（順不同）、以上 13 施設でデータ収集にご協力くださった先生方に厚く御礼を申し上げます。



Digital Poster